

校 報



はが

令和7年5月29日

No.112

ともに歩む新しい春

5月のごあいさつにかえて

教頭 庄 健裕

春風がやさしく校舎を包み、若葉がまぶしく輝く季節となりました。地域や保護者の皆さまには、日頃より本校の教育活動にあたたかいご理解とご協力をいただき、教職員一同、深く感謝申し上げます。

本校では、今年度も、併設型小中一貫校「波賀学園」として、「自分と友だちを大切に、ふるさと波賀を愛する子ども」の育成をめざし、日々の教育活動に取り組んでいます。学園全体で行う小中合同行事や、幼稚園やみどり保育園との連携、さらには日豪交流団(HJA)との交流など、今年度は昨年以上に工夫した取組を予定しています。子どもたちにとってよりよい学びとなるよう、一つひとつの行事に丁寧に向き合い、関係機関と連携しながら準備を進めていきます。

そのような中、最近の校外活動の様子をいくつかご紹介させていただきます。地域の皆さまのお力添えもいただきながら、子どもたちがいきいきと学び、姿がたくさん見られました。

4月下旬には、新入生歓迎遠足を実施しました。

ここでは、1・6年生混合の縦割りグループをつくり、フォレストステーション波賀までの遠足を行いました(途中、一部スクールバスも使用)。6年生が中心となつて下級生を気づかいながら目的の地へと向かう姿はとても頼もしく、どの班でも声をかけ合い、



森林鉄道乗車体験の様子

協力し合う様子が見られました。目的地では、波賀元気づくりネットワーク協議会の方々にお世話になり、森林鉄道の乗車体験をしたり、6年生が企画した遊びで楽しい時間を過ごしたりして、新入生との仲も深まりました。また、自然豊かなふるさとの魅力にふれることができ、子どもたちにとって心に残る一日となりました。

5月には、波賀中学校を会場として、小中一貫交流会があり、ここでは1・9年生混合の縦割りグループで、校内めぐりを行いました。

各教室では、中学生が準備してくれた21種類もの交流ゲーム(カーリング、的あて、輪投げなど)があり、小学生たちは目を輝かせながら楽しんでいました。中学生も、小学生の笑顔や反応を見てとても嬉しそうでした。自分の準備

が誰かの喜びにつながる体験を通して、「自分は人の役に立てた」という「自己有用感」が子どもたちに育まれていることを感じました。



全体会で交流遊びをする様子

また、5年生は4泊5日の自然学校に参加し、親元を離れて集団生活を送りました。交流先である千種小学校の児童とともに森林鉄道の歴史を学び、ゴルフ、カヌー、登山、野外炊飯、木工クラフト、キャンドルサービスなど、さまざまな体験を積みました。「仲間と協力すること」「自然の中で新しい自分に出会うこと」「最後までやりぬく力を育てること」など、ねらい通りの大きな成長が見られました。

そして、先月の校報やおたよりを通じて協力を呼びかけた「ふるさとゲストティーチャー人材バンク」に、早速、登録してくださった方がいらっしやいました。「趣味で続けていることを、子どもたちに伝えたい」とのお申し出に、私たちは、胸が熱くなりました。子どもたちの学びの幅が広がることを、とても楽しみにしています。引き続き、ご協力いただける方の登録をお待ちしております。

地域と学校が手をたずさえて歩むことが、子どもたちの豊かな成長の土台となります。これからも、地域の皆さまを「学びのパートナー」として、つながりを深めていきたいと願っております。

さわやかな新緑の季節、どうぞお健やかに過ごしてください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

ふるさと人材ゲストティーチャー人材バンクは、下記QRまたは、電話で受け付けております。



社会・学校における合理的配慮の提供について

特別支援教育コーディネーター 藤井 成美

令和3年に障害者差別解消法の一部が改正されたことにより、昨年4月1日より民間事業者にも合理的配慮の提供が法的に義務化されたというニュースを見聞きされたことがあるかもしれません。教育現場においてもこの配慮は欠かせないものですが、そもそも「合理的配慮」とはどういうものかご存知でしょうか。それは障害の有無にかかわらず、互にその人らしさを認め合いながら共に生きる社会の実現に向けて行う配慮のことです。例えば飲食店に来店された方が、車椅子のまま着席したいと申し出た際には、お店の椅子を片付ける。また、口頭での意思疎通が難しいと伝えられたら、筆談を行うなどがあります。学校においては、一斉指示だけではどうしていいかわからないときに、教師がモデルとなって目の前でやって見せたり、気持ちが高ぶったときにクールダウンできる場所を用意したりするなどがあります。しかし、実際にはここには書き切れないほどの配慮の方法が存在します。

どちらの場合においても大切なことは、建設的に話し合いながら、社会的バリアを除くために必要な

対応を検討していくことです。人によってできることや苦手なことが違うため、配慮が必要な場面やその度合いも異なります。よかれと思ってしたことが、かえって迷惑になることや不快な思いをさせてしまう恐れもあります。

誰もが気持ちよく、自分も相手も大切にしながら過ごすために、波賀小学校でも児童や保護者の皆様と話し合い、最適な方法を一緒に考えながら教育を進めているところです。お子さんや学校のことで気になることや悩みなどがありましたら、些細なことでも構いませんのでお気軽に担当や担任にご相談ください。また、スクールカウンセラーによる相談も受け付けておりますので、こちらもご活用ください。

今年度のカウンセリングについて

学習面や生活面、その他お子さんのことで気になることについて、専門のカウンセラーによる相談を行っております。

スクールカウンセラー 塚田 裕介 先生

水曜日

在籍児童・保護者

波賀小学校 山本(養護教諭) まで

電話番号 7512354

6月の行事予定

- 2日(月) 委員会活動
- 3日(火) 内科検診(高学年)
- 5日(木) 栄栗市教委学校訪問(14:15 下校)
- 9日(月) クラブ編成会
- 11日(水) 耳鼻咽喉科検診(1・4年生)
- 12日(木) 眼科検診(1・4年生)
- 13日(金) プール掃除
- 17日(火) 出張音楽家特別演奏会
- 19日(木) 創立記念日
- 20日(金) PTA 本部役員会・理事会
- 23日(月) プール開き・クラブ活動
- 25日(水) 情報モラル講座(4~6年生...15:15 下校)
- 30日(月) 委員会活動

